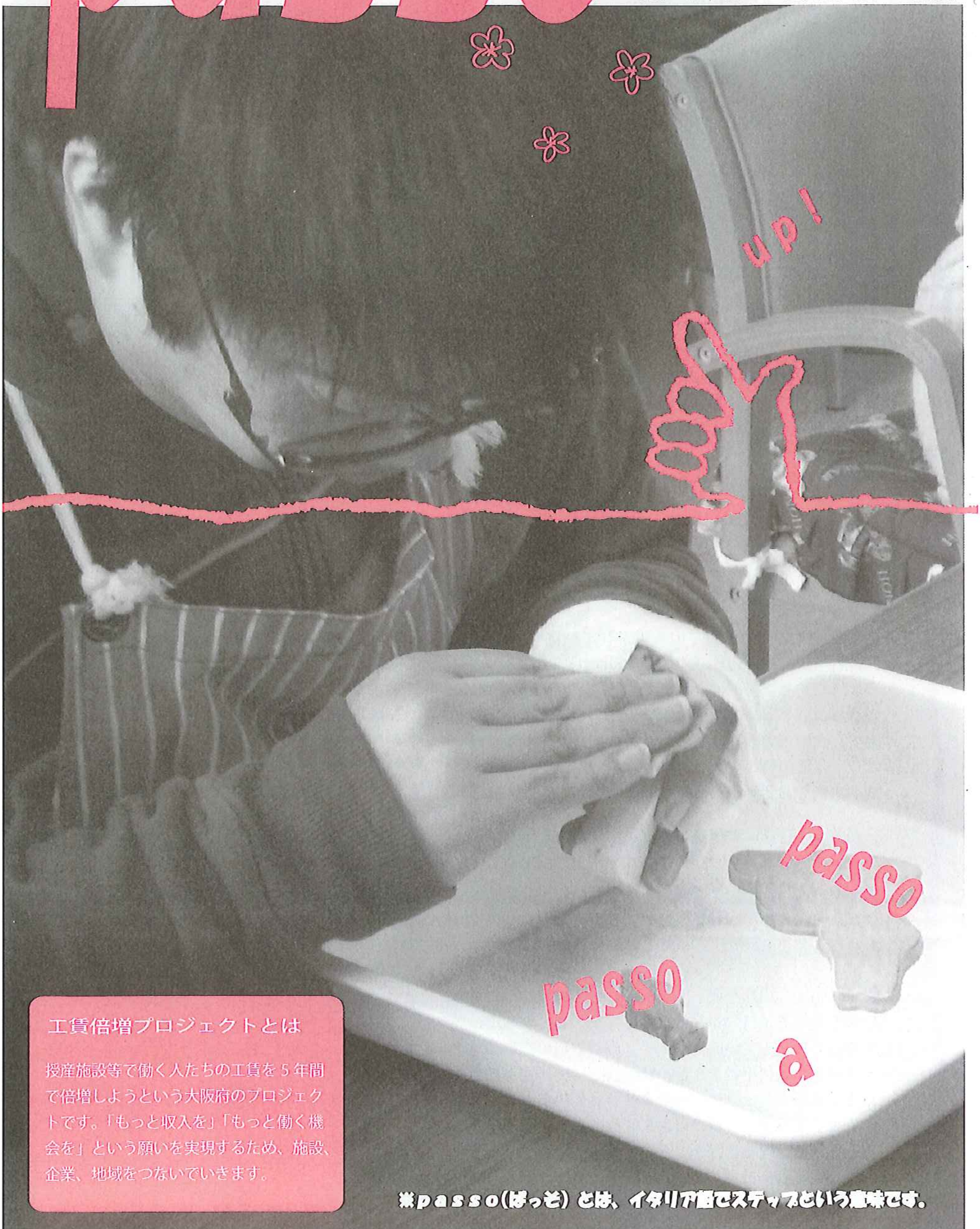
034

passo

ぱっそ

工賃倍増プロジェクト

2011/3.1 – 3.31



工賃倍増プロジェクトとは

授産施設等で働く人たちの工賃を５年間で倍増しようという大阪府のプロジェクトです。「もっと収入を」「もっと働く機会を」という願いを実現するため、施設、企業、地域をつないでいきます。

※passo(ぱっそ)とは、イタリア語でステップという意味です。

うちの Ko-chin 倍増計画！

今回紹介するのは能勢町にある「夢来人（むらびと）の家」さんです。現在は就労継続支援 B 型の事業所として、21 人の利用者さんが毎日元気いっぱいに通われています。

夢来人の家さんでは内職を中心に自主製品として木工のパズルや喫茶店の運営、清掃など多様な作業に取り組んでおられます。その中でも木工のパズルは秀逸で、販売先の " とよのピア in 池田 " や能勢町の " 道の駅 " などでの評判も上々だそうです。木工パズルの特徴は、季節感のあるかわいい絵と彩色が施されていることです。お子さんやお孫さんへのプレゼントにと買って行かれる方が多いようで、新入学シーズン前の春先は最も発注が増える時期で今年も忙しくなりそうということでした。

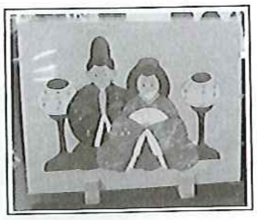
「季節感ある木工パズルで勝負！」

そういったパズルの誕生にはちょっとした話があります。夢来人の家さんでは、以前までは一般的な木のおもちゃなどを商品としてつくられていたそうです。ある日、自主製品のマーケットに商品を出品したのですが、他の施設さんの木工製品のできばえを見て、「同じモノを作っていても勝負ができない」と、これまでの路線から一変し、彩色したパズルに商品を絞り込まれたそうです。

※表紙の写真は、パズル製作の作業風景です。

「ニーズに応えてパズルをひと工夫」

お客さんのニーズによりパズルの作り方にちょっと工夫をしています。子ども達がパズルをばらしたり組み立てたりしたい場合は、やや大きめのピースで構成し、大人の人達が飾っておくことを目的とされる場合には、やや細かなピースを組み合わせて凝ったパズルにしたりと実によく考えられています。



夢来人の家さんの課題を伺うと、売り上げは毎年増やせているけど、利用者さんの受け入れを年々増やしていることで工賃アップがなかなか難しいということでした。それについては現在喫茶部門の強化を重点的に取り組んでおられます。それは、施設内の仕事だけではなく外の人と関わる仕事を増やしていくことで接客などの経験を積んでもらい、将来的には一般就労に結びつけていきたいと考えているからです。大阪の " てっぺん " 能勢町から大きな夢が膨らんでいます。

社会福祉法人能勢むらびと福祉会 夢来人（むらびと）の家
〒563-0362　大阪府豊能郡能勢町森上 138-2
TEL / FAX　072-734-2586

第 25 回 カフェ

今回のテーマは内職！

内職はたくさんの施設で取り組まれています。しかし、「不況で仕事が減った」「単価が安くて困っている」というような声もよくお聞きします。そこで、今回のカフェでは、工賃アップした作業所さんから学ぼう！ということで、大阪市東成区にある就労継続支援 B 型、「支援センター中」の皆さんをお迎えし、工賃アップに繋がった成功事例をお話いただきました。

月額平均工賃は、4,598 円（平成 20 年度）から 6,268 円（平成 21 年度）にアップ。作業は、さをり織り、内職を中心に行っていますが、いただいた仕事を確実にこなし、発注者が安心して仕事を出せる実績づくりをすることで着々と工賃アップされています。

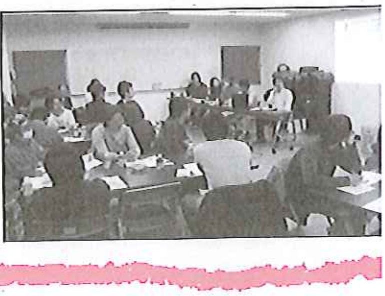
まず、朝礼、終礼をきっちり行い、その日の納品量などの報告をして、自分がどれぐらい作業をしているのかを実感してもらっているそうです。部材置場の把握や整理は職員さんと利用者さんが一緒に決めています。慣れてくると職員さんはフォローにまわり、利用者さん中心で作業をすすめます。利用者さん同士協力して作業をすすめることで達成感を得ることができる環境をつくっています。

新しい作業を始める際には、その部品のちらしを見せて説明し、自分は何を作っているのかを理解してもらえるようにしているそうです。作業ということだけだとやらされている感があるかもしれませんが、自分たちが作業した物がどんな風に使われていて、どんな風に社会の役に立っているかを伝えることでヤル気や自信に繋がる良い効果になっているのだと思います。

支援に対しては「これでいい」とは思わず「これでいいのか？」という姿勢で取り組み、職員さん一人ひとりが利用者さんの立場になって、どうすれば伝わりやすいか、実感してもらえるのかを意識して支援に取り組んだことが工賃アップに繋がったのではないかと思います。

カフェ終了後も地域間の交流や似た作業をされている作業所さん同士で話をされたり、名刺交換などをされていました。

2011 年 2 月 17 日（木）
場所：大阪市教育会館
（アネックスパル法円坂）
参加施設数：17 施設
参加人数　：20 人



超一流の審査員！食品部門予選結果

工賃倍増計画推進事業
Challenged Creative Award2010

今回は幸運が重なり思いもかけないすごい先生方が選任審査員としてご協力いただきました！大手前製菓学院副学院長 松井 博司氏、ANA クラウンプラザホテル大阪 ペストリーシェフ 斉藤 浩一氏、帝国ホテル大阪 ペストリーリーシェフ 倉持 登氏。3人の製菓専門技術者をお迎えし、2月4日（金)、クレオ大阪中央クラフト調理室にて食品部門（クッキー）の予選審査会が行われました。

応募総数は 31 作品。3人のパティシエには、選任審査員として専門的な評価基準で審査していただきました！

障がい者のかかわり度を観点に評価していただいた選任審査員のみなさま。
◇大阪府立中津支援学校　校長様
◇元大阪府立守口支援学校　校長様
◇（社福）大阪府社会福祉協議会　担当者様
◇大阪府洋菓子協会　事務局　担当者様
◇大阪府福祉部障がい福祉室自立支援課　担当者

市民代表のみなさま。
◆関西福祉科学大学　学生３人
◆主婦　３人
◆シニア世代　男性３人　女性１人

審査の状況は裏面をご覧ください！ →

選任審査員と市民代表１０人の厳正な審査のもと、下記の 12 作品（同点３作品）が本審査へと進みました。

（作品名のアイウエオ順）
★アーモンドクッキー（よさみ野障害者作業所）
★ゴマクッキー（共働作業所　凧）
★さくさくクッキー（PicaPica 作業所）
★サブレ（ふれあい工房）
★そらまめオリジナルクッキー（そらまめ作業所）
★スノーボール（6 個入り）（ほくぶ障害者作業所）
★スノーボールクッキー（里の風）
★チュイール・オ・アマンド（サニー・サイト）
★チョコアーモンドクッキー（心学塾作業所）
★パン粉クッキー（ハートフル大東いちばん星）
★ピーナツクッキー（ヘルプセンターぽっぷ）
★ゆびもじクッキー（あいらぶ工房）

※本審査の結果発表は工賃倍増ミーティングで！

ただ今、更新シート受付中！

平成 23 年度の工賃引上げ計画シート（更新分）の受付を行っています。
第一次締切日は3月 31 日（木)。年度末で何かとお忙しい時期ですがご提出よろしくお願いします。

今回の引上げ計画シートは、これまでのものと比べて「支援希望」欄の体裁を一部変更しています。
支援希望の内容をより具体的に書いていただくようにしましたが、そうすることで支援のための調整作業をよりスムーズにしたいと考えています。引上げ計画を進めていく上でどういった支援を希望されるのか、新年度の計画に沿った形で記入してください。
様式は下記アドレスからダウンロード可能です。
http://www.l-challenge.com/kouchin/project/08.html

受発注コーディネート支援

「請負仕事がほしい。」「自主製品の販売先を開拓したい。」といった場合は、受発注コーディネート事業で対応します。営業先からの仕事情報を提供します。そのためどんな仕事を普段されているのか、どんな商品をつくっておられるのかなどを知らせてください。
【支援例】
内職情報の提供、出店情報の提供、ノベルティグッズの提案等

経営ノウハウ支援

新たな事業計画づくりや工程の見直しなど経営にかかわるいろんな相談事に対して、コンサルタントを派遣してアドバイスを行います。
※大規模生産設備に対する助成の申請を検討されている施設様は必ず支援希望を出してください。
【支援例】
顧客開拓、店舗づくり、工程改善についての提案等

技術力向上支援

自主製品づくりにおける技術的なお悩みについて技術指導者を派遣いたします。どういった作業のどういった点について困っておられるのかを具体的にお書きください。なお、作業科目によっては登録されている支援者がいないこともありますので、その場合は派遣にいたるまでお時間をいただくことがあります。
【支援例】
製菓、製パン、縫製作業等の技術指導者派遣

Voice

今回応募された作業所さんはほんまにラッキーだにゃ～！

ＣＣＡ食品部門予選審査会
「一流は、さすがにすごい！！」

クッキーの審査は、3 人のパティシエの先生方のみで始まりました。まず、3 人で審査方法を協議され、30 作品から 10 作品程度に絞り込むことになりました。レシピや食品表示、ほんのわずかな試食をされ、ほぼ 15 分程度で各人が協議テーブルに戻ってこられました。選ばれた番号を見て私たちはビックリ！ほぼ同じクッキーを選ばれたのです！
「このクラスになるとわかるんですよ」と笑顔でおっしゃったのは、大阪府洋菓子協会事務局の石川さん。今回はとてもお世話になり、選任審査員も引き受けていただきました。3 人の先生方は毎年さまざまな製菓コンテストの審査員をされているそうです。

先生方が選ばれた 10 作品、福祉関係の選任審査員の得点、市民代表の 10 人の得点をあわせ、上位 12 作品が予選を通過しました。

ご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございました！

今回の審査方法は、本審査委員からもご意見をいただき、クッキーに関しては専門性を尊重し 3 人の先生方に 1 位から 4 位までを協議して決めていただき本審査の参考とする、というものです。この提案に基づき、いよいよ順位を決める審査です。

各人が異なるテーブルに散開され、ひとつずつ手にとり試食をしながら審査が進められていきました。採点票は製菓コンテスト仕様の 5 段階評価で、大手前製菓学院の松井先生に作っていただきました。
協議の上、決定した 1 位から 4 位までの結果は本審査まで封印され、その時を待っています。

いよいよ今月は年度末。
なにかと忙しいこの時期ですが、今年もやってきました“工賃倍増ミーティング”。
参加申し込みは、もうお済みですか？

今年は、「チャレンジド　クリエイティブ　アワード 2010」の授賞式をはじめ、作業所さんの発表、企業様の報告、次年度の方向性など盛りだくさんです！
会場となるアネックスパル法円坂の 7 階ホールのロビーには雑貨部門、食品部門で予選審査会を通過した 24 作品が展示されます。

この 1 年間、訪問できなかった作業所さん、顔を見ていない支援員さんに“工賃倍増ミーティング”で会えたらいいな、と願っています。「元気だった？」とか「あれからこうなりました」とか「今、こんなもの作ってます」とか、ほんの少しおしゃべりできればそこから糸がつながり、私たちの営業意欲もアップします！

みなさ～ん、
3月9日（水）に、お会いできるのをスタッフ一同、楽しみにしています！

こちら編集部

passo に関するご意見、ご感想をお待ちしています！
ふと気づいたことやどんなことでも、みなさまの声を聞かせてください。

お問い合わせ先

大阪府工賃倍増計画推進事業運営主体：大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合（愛称：エル・チャレンジ）
大阪市中央区法円坂 1 丁目 1 番 35 号 大阪市教育会館 5 階　TEL：06-6949-3551　FAX：06-6920-3522
http://www.l-challenge.com/　http://www.l-challenge.com/kouchin/index.html